

第41回 平成24年

新潟県指定無形民俗文化財

# 三条かぐら鑑賞会

日時 10月7日(日) 午後0時45分開演

会場 三条市中央公民館大ホール



主催 三 条 市  
三条神楽保存会

---

---

# プログラム

---

---

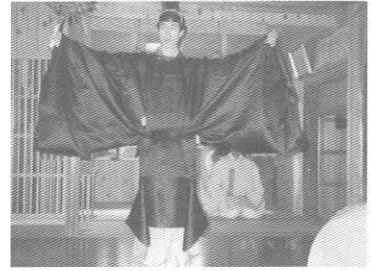
- |      |         |              |       |
|------|---------|--------------|-------|
| 1    | 開会のことば  | 三条神楽保存会会長    | 横山 弘  |
| 2    | 主催者あいさつ | 三条市長         | 國定 勇人 |
| 3    | かぐらの演舞  | (解説) 神明宮禰宜   | 三上 正行 |
| (1)  | 宮司舞     | 保 内          | 小布勢神社 |
| (2)  | 宮清の舞    | 三 条          | 八 幡 宮 |
| (3)  | 悪魔払の舞   | 田 島          | 諏訪神社  |
| (4)  | 榊の舞     | 大 崎          | 中山神社  |
| (5)  | 五穀捧の舞   | 保 内          | 小布勢神社 |
| (6)  | 小弓遊の舞   | 一ノ木戸         | 神 明 宮 |
| (7)  | 天川の舞    | 塚野目          | 白山神社  |
| (8)  | 福神遊の舞   | 田 島          | 諏訪神社  |
| (9)  | 大鉦の舞    | 三 条          | 八 幡 宮 |
| (10) | 天孫降臨の舞  | 一ノ木戸         | 神 明 宮 |
| (11) | 羽返の舞    | 塚野目          | 白山神社  |
| (12) | 地久楽の舞   | 大 崎          | 中山神社  |
| (13) | 鳥形の舞    | 保 内          | 小布勢神社 |
| (14) | 花献の舞    | 田 島          | 諏訪神社  |
| (15) | 宝剣作の舞   | 一ノ木戸         | 神 明 宮 |
| (16) | 岩戸開の舞   | 一ノ木戸         | 神 明 宮 |
| 4    | 閉会のことば  | 三条市市民部生涯学習課長 | 金子 正典 |

## 1 ぐらじ 宮司舞

保内 小布勢神社

神楽を奉納するに当たり、その日の舞に最初に舞われるものです。宮司自ら舞い、これにより神楽を捧げ、神の御霊をお慰め申すことを示します。

【囃子】宮司舞拍子 【装束】立烏帽子・狩衣・切袴  
【採物】榊・幣



## 2 みやきよ 宮清の舞

三条 八幡宮

伶人一人で舞う。天照大神が須佐之男命すさのおのみことの乱行を怒り、天の岩戸におかくれになられたその時、天兒屋根命あめのこやねのみことが大神のお出ましを願うための祭りを行うべく、先ず大神なきあとの不浄を清めようと修祓の行事を行ったということに由来する舞で、神楽殿、参拝の人々の罪、穢れを祓い清める意味のものです。

【囃子】三拍子 【装束】毛頭(小)・狩衣 【面】翁 【採物】大麻

## 3 あくまばらい 悪魔払の舞

田島 諏訪神社



天孫の降臨に先立ち、フツヌシノミコトが中津国の荒ぶる神を打ちしずめるために努力されたことにちなんだ舞で、神刀の威力で邪気を祓い、世の中の安泰を祈るものです。

フツは、刀剣の鋭く物を立ち切る音の擬声語で、諸々の悪を刀剣で断ち切ることを象徴した舞です。

【囃子】悪魔祓拍子 【装束】金欄法被差袴毛頭(大) 【採物】劍

## 4 さかさ 榊の舞

大崎 中山神社

稚児四人によって舞われる舞です。天孫降臨の折、猿田彦大神さるだひこおおかみは天孫の降臨の道すがら、榊をもって、悪神たちを打ち平げたという故実による舞です。

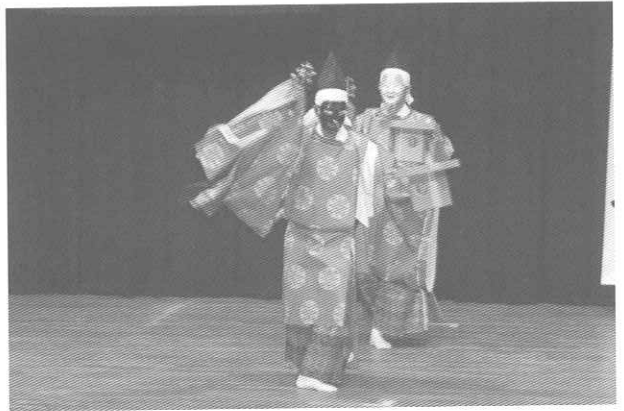
【囃子】榊拍子 【装束】天冠・髪に蝶型・曲・青狩衣・紫袴 【採物】榊

## 5 ごこくささげ 五穀捧の舞

保内 小布勢神社

二人で舞います。ウブスナノカミをはじめ神々の加護によって、今年も茄穀豊穰。めでたく収穫も終わったので、神々に五穀の初穂を奉り、豊作のよろこびを感謝する舞です。

【囃子】シヤギリ 【装束】狩衣・切袴又は差貫通・風折烏帽子又は引立烏帽子 【採物】三宝・鈴



## 6 こゆみあそび 小弓遊の舞

一ノ木戸 神明宮

アマテラスオオミカミは中津国の平定のために、アメノワカヒコに「あめのはじゆみ天波士弓」と「あめのかぐや天加久矢」を授けられました。

この舞は、その弓矢を持って、天の岩戸の大前で姫神たちが、世の太平を祈り舞った故事による、四人の稚児舞です。

【囃子】小弓拍子 【装束】舟型烏帽子・狩衣・大口・襷 【採物】弓・矢



## 7 あまがわ 天川の舞

塚野目 白山神社

天の岩戸開きにあたって、舞の上手な神様であるアメノウズメノミコトが桶の上で舞い踊られた故事によるものです。

舞は、能の羽衣の天女の舞を模したものとされています。舞の装束は、平安時代の白拍子(遊芸を業とする女性)姿に類似していて、たくましい男性が、鈴と扇を優雅にあやつりながら若い女性の姿態で舞うむつかしい舞です。

【囃子】天川拍子 【装束】静烏帽子・女まげ・赤単・狩衣・奴袴 【採物】鈴・扇

田 島 諏訪神社

恵比寿、大黒の舞です。互いに失敗を無言劇風にからかい合いながら舞は進められ、最後に恵比寿が大きな鯛を釣りあげ、大黒も大いに協力し喜び合います。

恵比寿が大きな鯛をかかえて退場すると、大黒は拝観者に菓子を撒いて退出します。

【囃子】三拍子・大黒一人になった時は桝拍子 【装束】大黒一大黒頭巾・狩衣・奴袴 恵比寿一風折烏帽子又は侍烏帽子・狩衣・奴袴・白脚絆・禪

【面】大黒一大黒面 恵比寿一恵比寿面 【採物】大黒一槌・袋・扇子 恵比寿一釣竿・扇子



9 おおぼこ 大鉾の舞

三 条 八幡宮

くしいしまどのかみ 櫛石窓神が、おもいがみのかみ 天孫降臨に先立ち、たじからおのかみ 思金神、手力神と共に、中津国の荒ぶる神たちを鉾をもって鎮圧したことに由来するといわれる舞です。

なおこの舞を「地鎮の舞」(又は「とこしずめの舞」)ともいいます。鉾の霊力を表徴するのがこの舞です。

【囃子】大満 【装束】大毛頭・金襴大狩衣・大口袴 【面】悪魔祓面 【採物】大鉾

10 てんそんこうりん 天孫降臨の舞

一ノ木戸 神明宮

ににぎのみこと 瓊々杵命が天照大神の神勅によって、あめうずめのみこと 雨鈿女命らをひきいてたかまがはら 高天原からとよあしほら 豊葦原の瑞穂国に降臨された時、さるだひこのみこと 道祖神である猿田彦命がご先導申し上げる様子を演じたものです。

舞はまず、彦2人が舞殿の飾付をします。次いで、あめのこやねのみこと 天児屋根命が枝ぬさを奉持して拝殿を清めます。ににぎのみこと 瓊々杵命が笏を持ち、あめのおしひのみこと 天忍日命・雨鈿女命を従えて登場し、天忍日命は大鉾の舞を舞い、雨鈿女命は桝の舞を舞います。終って、猿田彦命が登場して舞詞を交わしながら舞われ、一同は猿田彦命の先導で退場します。

【囃子】今様・大満・桝

## 1 1 <sup>はがえし</sup>羽返の舞

塚野目 白山神社

稚児4人で舞う。天岩戸の変の時、岩戸の前で羽根扇を両手に持ち、大神のおでましを一時も早くと、国土四神に、岩戸前に参集なされた神々が祈りを捧げられた事に由来する舞です。

【囃子】羽返拍子 【装束】天冠・白狩衣・青袴・曲玉 【採物】扇2本

## 1 2 <sup>ちきゅうらく</sup>地久楽の舞

大崎 中山神社



天地長久を祝して天忍日命<sup>あめのおしひのみこと</sup>が天岩戸の大前で、天地とともにみんなの安全を祈ったことに由来する舞です。

また、この舞は能狂言の「三番叟」<sup>さんばそう</sup>の装束で鈴をもって舞う形が、それに似ていることから、俗に「さんばさ」ともいわれています。

【囃子】大満 【装束】大烏帽子・子大毛頭・金襴大狩衣・大口 【面】悪魔祓面

【採物】鈴

## 1 3 <sup>とりかた</sup>鳥形の舞

保内 小布勢神社

天岩戸の変の折、思金の神の計により夜明けを告げる常世の長鳴鶏を鳴かしめられた。天照大神は岩戸の中であって、朝を告げる長鳴鶏が鳴き、神々が笑いさざめていることを不審に思われ、岩戸の扉を少し開けて外をのぞかれようとした時に、手力男の命が岩戸のすき間に手をかけ、扉を開き大神をお出し申し上げた。

この舞は、その故事にならい、常世の長鳴鶏を形どって舞われる舞で、動作には鶏の生態をそのまま写し出している所が多い。

【囃子】鳥形拍子 【装束】鶏形頭・毛頭・狩衣・差貫・脚絆 【面】翁 【採物】大麻

## 14 かけん 花献の舞

### 田島諏訪神社

稚児4人舞です。時の花を神に捧げる意味のも

のと思われませんが、ににぎのみこと かささ 邇々芸命を笠沙の岬にお迎えして、命の苦労をおなぐさめ申したことに由来する舞であるとも伝わっています。

【囃子】花献拍子 【装束】立烏帽子又は天冠・狩衣・差貫袴 【採物】時の花の枝1人2本ずつ

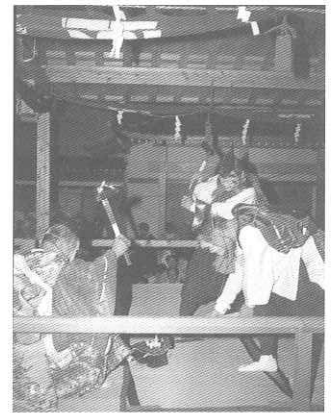


## 15 ほうけんさく 宝剣作の舞

### 一ノ木戸 神明宮

三条小鍛冶宗近が時の天皇の命により、宝剣を作るにあたり、稲荷の大神の神助によって完成するというもので、三条では鍛冶舞とも呼ばれています。

【囃子】しゃぎり、大満、槌を打つ時は宝剣作の拍子 【装束】宗近一立烏帽子・狩衣・切袴・襷 相槌一舟型烏帽子・狩衣・立付袴・襷 神使一白毛頭・狩衣・差貫 稲荷一稲荷頭・大毛頭・狩衣・大口 【面】宗近一宗近面 相槌一彦面 神使一白翁面 稲荷一智王面 【採物】神使一剣 小道具一ふいご・金床・大槌・小槌・三宝



## 16 いわとびらき 岩戸開の舞

### 一ノ木戸 神明宮

すさのおのみこと 須佐之男命の乱行に恐れをなされたあまてらすおおみかみ 天照大神は、天の岩戸におかくれになり、天地が真暗になってしまいました。そのため邪神が立ち騒ぎ、禍が次々に発生し、困りぬいたやおよろず 八百万の神々が天の安河原に集まって協議された結果、あめうずめのみこと 雨鉦女命が岩戸の前で舞われることとなりました。この舞の面白さに興じる騒々しい様子に、何事だろうと、そっと岩戸から覗き見をされた天照大神を、岩戸の扉のそばに隠れ立っておられたた手

じからおのみこと 力男命が岩戸を開き、外へお連れ申した由来によるもの。

【囃子】大満、三拍子 【装束】金らん法被・毛頭・差貫 【面】悪魔払面 【採物】大麻



## 三 条 神 楽 の 由 来

三条神楽は、出雲神楽系統に属する神楽です。出雲神楽は、岩戸開き神話を中心とし、その他古くから出雲大社に伝わる神事や、神社の縁起を新たに取り入れ演じられた神楽です。その出雲流の神楽が、山陰から北陸を経て三条の地に伝えられたものと考えられます。

江戸時代の文化8年（1811）には、三条（八幡宮）で神楽が舞われていたことが、古記録に残っていることから、その起源はさらに遡るものとみられます。

ふつう5舞か7舞を伝えるものが多いなかで、三条神楽は32舞も保存されていて、たいへん珍しいため、昭和38年3月、県の無形民俗文化財に指定されました。

このようにすぐれた郷土芸能を、広く市民のみなさんから知っていただき、後世に伝えるため、三条市および三条神楽保存会では、後継者の育成に努めています。研修会や講習会などをおして研鑽を重ねる一方、ビデオや映画に収録したり、本にまとめたりして、当市の伝統芸能の保存をすすめています。

新潟県指定  
無形民俗文化財

### 三条神楽32舞の演目

1 先稚児の舞	9 鳥形の舞	17 天川の舞	25 杵樹の舞
2 宮清の舞	10 羽返の舞	18 奉幣の舞	26 宝剣作の舞
3 悪魔祓の舞	11 岩戸開の舞	19 小弓遊の舞	27 深山錦の舞
4 鎮護鉾の舞	12 地久楽の舞	20 四神の舞	28 神勇の舞
5 久奈戸の舞	13 稲田宮の舞	21 五行の舞	29 五ツ刀の舞
6 五穀撒の舞	14 神の舞	22 大鉾の舞	30 三座返の舞
7 五穀捧の舞	15 花献の舞	23 天孫降臨の舞	31 宮司舞
8 太平楽の舞	16 福神遊の舞	24 末広の舞	32 乙女舞

